

討 論

【郵便集配業務の再編に対する意見書の提出について】

齋藤 広二 議員

今回の計画は全国4,696局ある集配局のうち、1,048局を順次、窓口業務だけの無集配局にするものです。県内で22局、市内では、百目木、東和、安達、上川崎局が対象です。サービス低下の懸念から全国ですでに50数局が延期をよぎなくされています。郵政民営化にあたっては、参議院で、「現行水準が維持され、万が一にも国民の利便性に支障が生じないように」との付帯決議がつけられたものであり、集配局廃止に反対です。

齋藤 賢一 議員

郵政公社は平成19年10月から完全民営化になる。他社とのサービス競争は不可避であり、当然、経営の効率化・合理化は必要である。

最小の経費で最大の利益を目標にするのが民間企業の責務であり、それによって顧客のサービスが可能となる。

集配業務が廃止されるから配達が遅れるとか、翌日になるなどと局員自身が住民に不安を煽るのは改革への認識不足に他ならない。合理化とサービスの向上は相反しない。

従って意見書には反対である。

まちづくり調査特別委員会

議員提出議案「まちづくり調査特別委員会の設置について」が提出され、全会一致で可決いたしました。この委員会は新市のまちづくりに関する調査を行うため、設置されたものです。

委員会の構成は、次のとおりです。

委員長	渡辺 平一
副委員長	高橋 正弘
委員	加藤 和信
	浅川 吉寿
	平塚與志一
	齋藤 徳仁
	齋藤 周一
	齋藤 広二
	齋藤 周一
	中田 涼介
	新野 洋

◎調査の基本方針

新市のまちづくりに関する調査を行うものとする。

◎調査事項

- ①二本松駅周辺整備事業について
- ②安達駅周辺整備事業について
- ③その他委員会の設置目的の範囲内で調査を必要とする事項について



第七回七月臨時会

七月十九日に臨時議会が開催されました。提出された議案等は、市長提出議案二件、議長提出議題一件であり、審議の結果は次のとおりでした。

〔市長提出議案〕

○二本松市杉田子ども館の指定管理者の指定について

原案のとおり社会福祉法人二本松市社会福祉協議会を指定、可決されました。

○二本松市監査委員選任の同意について

議会から選出される監査委員に、鈴木隆議員を全会一致で同意いたしました。

〔議長提出議題〕

○二本松市農業委員会委員の推薦について
議会推薦の農業委員会委員には、次の四名の議員を推薦いたしました。

- ・遠藤 芳位 議員
- ・野地 久夫 議員
- ・齋藤 周一 議員
- ・三浦 一良 議員

